

## 授業論文表彰式 市内小・中学校から 16 編の応募

2月13日、市教育委員会は教員の授業力向上を目指す「授業論文」の表彰式と研究発表会を開催しました。本年度は計16編の応募があり、西小林小学校の尾原恵教諭が一席に輝きました。表彰式で大山和彦教育長はGIGAスクール構想の第2期を見据え、ICTを学習基盤として位置づける重要性を強調。「個別最適な学び」と「協働的な学び」にキャリア教育の視点を取り入れた「小林モデル」の構築を目指し、子どもたちの主体性を育む授業実践の成果が共有されました。

### 授業論文（映像記録）※敬称略

一席	西小林小学校	教諭	尾原 恵
二席	南小学校	教諭	児玉 晃太
三席	南小学校	教諭	高口 章子
奨励賞	西小林小学校	教諭	齋藤 リカ
//	三松小学校	教諭	末原 義国
//	紙屋小学校	教諭	八田 祐貴
//	細野中学校	教諭	大塚 祐輔
//	西小林中学校	教諭	早田 泰大



### 授業論文一席

西小林小学校 尾原 恵 教諭

#### 【研究主題】

自ら学び、考え、自己の生き方と向き合う道徳科授業の創造  
～主体的・対話的で深い学びの実践を通して～

#### 【授業のポイント】

道徳科で「自分事」として捉え、本音で語り合う授業を追求した。発問の精選やICT活用により思考を可視化。安心できる居場所作りと対話を通じ、他者の考えで自己を深め、生き方を見つめる児童の姿を引き出した。

### 授業論文二席

南小学校 児玉 晃太 教諭

#### 【研究主題】

全員の「深い学び」を目指すユニバーサルデザインの授業  
～1年国語科における論理的思考に焦点をあてて～

#### 【授業のポイント】

1年国語科でユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を展開。焦点化・視覚化・共有化を意識し、教師はファシリテーターに徹した。「理由や根拠」に基づく発言や、児童同士の教え合いにより、全員理解を目指した。



※これまでの優秀な授業論文の映像記録は、市立図書館で貸し出しを行っています



### 小中一貫教育実践発表（西小林中学校区）

#### 【研究主題】

夢に向かって、自ら学びに向かい成長する児童生徒の育成  
～キャリア教育の視点を取り入れた活動を通して～

#### 【実践内容】

西小林中校区3校が連携し、キャリア教育の視点「かかわる力・ふりかえる力・やりぬく力・みとおす力」を共有。特に「ふりかえる力」に焦点を当て、教科や生活指導で共通実践を展開。メディア対策などを通じ、自ら学ぶ児童生徒を育んだ。

### 教育研究センター調査研究発表会

#### 【研究主題】

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実  
～1人1台端末の効果的な活用をとおして～

#### 【研究内容】

ICTを基盤とした「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を研究。ロイロノートや学習シート、生成AIを活用し、子どもたち自身が学び方を選択・調整する実践を報告したほか、キャリア教育の視点を取り入れた「小林モデル」の授業構築を提言した。



いま、教育現場で求められている授業とは――

●問II 学校教育課 TEL 23-0424

小林市教育研究センター調査研究発表会並びに授業論文表彰式